

ニッペ 水性ケンエースグロス

多機能タイプの環境配慮形水性つや有り塗料。
内装・外装の各部位に塗装可能です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

■ 特長

① 優れた付着性

反応硬化形なので、各種旧塗膜への付着性に優れ、改修時にはシーラーレスでの塗装が可能です。(※)
また、優れた耐久性・耐水性を発揮します。
(※) 壁面での健全な塗膜を想定しています。
条件によっては下地処理や下塗りが必要な場合があります。
裏面の施工上の要点と注意事項をご参照ください。

② 優れた仕上がり

隠ぺい性に優れ、作業性・仕上がりの両面を兼ね備えた高級品です。

③ 環境配慮形

低VOC塗料(TVOC1%以下)ですので、室内環境に配慮した水性塗料です。
また、臭気も少なく、安全にお使いいただけます。

④ やに止め性

やに止め効果があるため、軽微なやにであれば抑制できます。
※裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

⑤ 透湿性

塗膜には透湿性がありますので、膨れや剥離を抑制します。

⑥ 防藻・防かび性

藻やかびの発生を防止する効果があり、美観維持に役立ちます。
強力防かびタイプ、抗菌タイプもオプション付与が可能です。

⑦ 現場で、つや調整可能

水性ケンエースグロスと水性ケンエースを混合し、お好みのつやに調整できます。

JIS K 5660 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント	つや有り
-------------------------------------	------

JIS K 5663 1種 合成樹脂 エマルジョンペイント	7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り
-------------------------------------	----------------------------

本製品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただくJIS非表示品があります。
JIS表示品が必要な場合は注文時にその旨をご指示ください。

■ 用途

戸建住宅・マンション・商業施設など
臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装
内部および準外部の鉄部改修塗装

■ 適用下地

新設適用下地: コンクリート・モルタル・石膏ボード・スレート板・
けい酸カルシウム板などの各種素材
改修適用下地: 上記各種素材面および鉄面の各種旧塗膜

■ 標準塗装仕様

●改修塗装仕様(内・外壁面) ・やにの付着が認められる場合は、裏面の「やに止めレベルの目安」をご参照ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。粉化物、ほこり、よこれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

●新設塗装仕様(内・外壁面)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイテ・透明)	1	0.10~0.16 0.12~0.16	4時間以上	水道水	ホワイテ 0~10 透明 無希釈	はけ、ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

●鉄部改修塗装仕様(内・準外部)

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性ハイボンプライマー	1	0.13~0.16	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ ウールローラー
上塗り	ニッペ 水性ケンエースグロス	2	0.13~0.15	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

★上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ニッペ 水性ケンエースグロス

塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー・エアレススプレー塗り
希釈率	0~10%
使用量	0.13~0.15kg/m ² /回
1缶あたりの塗装面積	53~61m ² /2回/16kg 13~15m ² /2回/4kg

- つや有りの塗付け量は、0.12kg/m²/回です。
- 5分つや有り、3分つや有りの塗付け量は、0.10kg/m²/回です。
- 使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の使用質量
- 塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料（希釈する前）の付着質量
- つや調整品では、タッチアップ塗装の際、施工方法によりむらを生じることがありますので、希釈率を増やし塗付け量を少なめに塗装を行ってください。

塗り重ね乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

容量・荷姿

塗料名	系統	容量	色相	つや
ニッペ 水性ケンエースグロス	水性反応硬化形 エマルジョン塗料	16kg 4kg	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り

やに止めレベルの目安

水性塗料のため、あらゆる条件でやにが止められる訳ではありません。以下の色相を目安に注意して施工してください。

日本塗料工業会 (25-90D) 色相見本	ニッペ水性ケンエースグロスで止まるやにとは左の色相が目安です。ただし、施工条件（温度、下地の状態）などにより止まらない場合がありますので予めご了承願います。左の色相見本より著しいやにが付着している場合は、シミ止めシーラーを塗装するか、しっかり水拭きをしてやにを除去してから施工してください。	
-----------------------------	---	--

■施工上の要点と注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- （1）富熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窓サライデック、発泡ウレタン使用建材など）を使用した[高熱型外壁]にて、旧塗膜が弾性リン、弾性スタック、アクロリトプなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また[高熱型外壁]に塗装する場合は、富熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所までご相談ください。
- （2）つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめします。
- （3）つや調整品では、塗り厚や補修でつやむらが出たので、面を切って通して塗装してください。
- （4）塗膜が剥けたりと本来のつやが失われたりおそれがある場合は、規定の希釈率をまもってください。
- （5）つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- （6）つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適量かはんしながらご使用ください。
- （7）顔色対応に強力かび性能、抗菌性能のオプション付与が可能です。
- （8）防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- （9）絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分成分が表面に溶出し、黄色い結露物となって析出するおそれがあります。著しい結露が発生する場合は、塗装を避けるか、湿気除去剤の塗装をおすすめします。
- （10）塗装後、乾燥不十分な状態で雨降結露などが発生し、低温、高湿度、通風の悪い場合は、はく離、剥れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。むらを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすよう施工してください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- （11）色相によっては得用、結露によってめくれ色相の場合は、乾燥すると元に戻ります。
- （12）乾燥後の塗膜は付く付は、シーラーの塗布は拭きか、せしけ水で洗浄してください。
- （13）スプレー・スズルの先端は、ときどき水洗いしてください。作業能率の低下および塗りの原因になります。
- （14）乾燥条件によっては塗膜表面に結露を認めることがあります。時間とともになくなります。
- （15）反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできる限り早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- （16）動物はけは、はけが固まるとリタガみやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- （17）JIS K 5663 1種（主として屋外用）の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
- （18）本品は必ず2回塗りしてください。1回塗り2回塗りに比べて仕上がりが異なります。
- （19）繊維壁、耐火被覆用繊維、酸カルシウム板、ロウケルなどの非常に弱い弱な素材には塗装できません。
- （20）水以下で貯蔵すると凍ります。凍らないよう5℃以上で貯蔵、保管してください。
- （21）旧塗膜に発生したカビは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。何層阻害をおこなっておく必要があります。
- （22）既存塗膜の劣化箇所は、既存塗膜の塗装仕様でカラーを合わせて施工してください。
- （23）酸化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（粉）、ニッペ浸透性シーラー（液）、ニッペ浸透性シーラー（粉）をご使用ください。
- （24）シーリングの上には、多量にひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- （25）やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きしてから塗料を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥（目安23℃、6時間）させた上で水性ケンエースグロスを塗ることでやに止め性能が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
- （26）素地表面のアルカリ度はpH9以下、表面含水率は10%以下（水性科学社製OH-2型で測定した場合）、または5%以下（ケツ科学社製H5003型：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- （28）表面のこま、はり、エフロレンセス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンク、コールドジョイントなどは、指入リセメントモルタルで平滑にしてください。
- （29）ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において、貫穴や段差などがある場合は、指入リセメント系下地調整材（ニッペペリドフラー、ニッペプライマー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルジョン系プライマーの使用は避けてください。）
- （30）内外装の新設成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（粉）、ニッペ浸透性シーラー（液）、ニッペ浸透性シーラー（粉）をお使いください。
- （32）塗膜乾燥後に顔面に人が触れるようなドアの一部や手すりなどは、皮膚の影響により塗膜表面の硬化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- （33）塗膜乾燥時の気温が5℃未満、または湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- （34）屋外の塗装で雨降、風雪のおそれがある場合、および塗料が凍結する場合は、凍結防止剤を塗料に混ぜて施工してください。
- （35）塗装時および塗装後に閉鎖しすぎると乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。
- （36）塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁してください。
- （37）黒色防かびの塗料は必ず養生を行ってください。
- （38）シーリング面への塗布は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うのと、塗り重ね適合性を確認し、必要を怠り行ってください。また、ニッペプライドプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の軽減が図れます。シーリング材の用途、使用条件などには、収縮割れが起こることがあります。
- （39）塗料、天候など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、塗料を除去してください。
- （40）雨のときは壁へはつかない、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて赤肌しないでください。
- （41）土壌に溶入しやすいコロイド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、色相を水で薄くしてから塗装してください。
- （42）顔色による目立つ塗膜の色相を併用してはいけません。
- （43）顔色や塗った塗膜の色相、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可塑性のある部位には使用しないでください。また、状況により材料接触するような箇所を使用する場合は、ファンタジーコンパニオンシーラーを上塗りして塗装してください。
- （44）大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず使い分け、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- （45）はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面積が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- （46）ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に振るよう仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- （47）塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- （48）汚れ、きずなどに、より補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず使い分け、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- （49）ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はく離などが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- （50）容器が歪みかかるとはびひる鋼板、塩化ビニール、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩化ビニールなどの直接塗装はお避けください。また、これらの材料に塗料が直接触れることがないようにご注意ください。
- （51）平滑仕上りや線面仕上りの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研削工程が必要になる場合があります。
- （52）塗料は内容物が均一になるようによく混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈殿している場合がありますので、かはん機を用いて均質の塗料を十分に混ぜてください。
- （53）開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- （54）大気中の浮遊成分が多い地域では、この成分が塗膜表面に付着し、塗膜が茶褐色に変色したように見える場合があります。
- （55）塗料濁濁の原因になりますので、保管・作業時に容器を横倒ししないでください。
- （56）製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペ水性ケンエースグロス 白		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> （1）本来の用途以外に使用しないでください。 （2）使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。 （3）取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。 （4）適切な保護手袋、防護マスクまたは防じんマスク・保護眼鏡・保護服・保護靴を着用してください。 （5）必要に応じて個人用保護具を使用してください。 （6）飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。 （7）眼に入った場合は水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。 （8）肌の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。 （9）取り扱った後、手を洗ってください。 （10）粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。 （11）曝露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。 （12）容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。 	<ol style="list-style-type: none"> （13）施設して子供の手の届かないところに保管してください。 （14）直射日光や水濡れは厳禁です。 （15）塗料の缶の缶の積み重ねは3段までとってください。 （16）日光が当たる場所、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。 （17）容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときは、適切なつり方で、垂直に持ち上げ、落下などを防止してください。（吊り下げなど注意と取って、落下事故の危険があります。） （18）内容物/容器を廃棄するときは、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 （19）容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すことと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 	
		危険有害性情報 強い眼刺激 / 発がんのおそれの疑い / 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

お客様センター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●©Copyright 2016 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-U032

MX160505T
2016年5月現在